

ニュースリリース

一般社団法人 NTS セーフティ家計総合研究所（NO4 2020.2）

『奨学金』1割の家庭で話題にならず

お金の話をしたことがない家庭も4%

当研究所が、奨学金を利用して今春卒業予定の大学・専門学校生を対象に「若者の消費行動に関するアンケート」を行ったところ、約1割の家庭で「奨学金が話題になったことはない」という結果が明らかになりました。さらに家庭内で「お金の話をしたことがない」と答えた学生も4%いました。

このアンケートは、卒業後に始まる奨学金返還の意識を高めるためのセミナーにおいて実施したものです。サンプル属性の特徴は、全員が奨学金を利用しているところにあります。

奨学金延滞の原因

日本学生支援機構が2019年3月に発表した「平成29年度 奨学金の返還者に関する属性調査結果」によると、奨学金申請時の書類作成を、延滞者の場合は奨学生本人の35.5%しか関わっておらず、無延滞者の場合は54.8%が作成によるものという結果が出ています。

卒業後長期にわたって返還する奨学金について、奨学生本人が関わっていないということは、想像の範囲ですが、保護者主導で申請したことも十分考えられます。少なくとも保護者と本人が話をしていないものと思われる。

さらに同調査では、延滞が始まった理由として「奨

学金は返還するものだとは思っていなかった」という回答も3.8%あります。この場合も、家庭内で奨学金が話題になったことはないでしょうし、当研究所の「お金の話はしたことがない」にも通じるものと思われます。

2022年には高校在学中に成人に

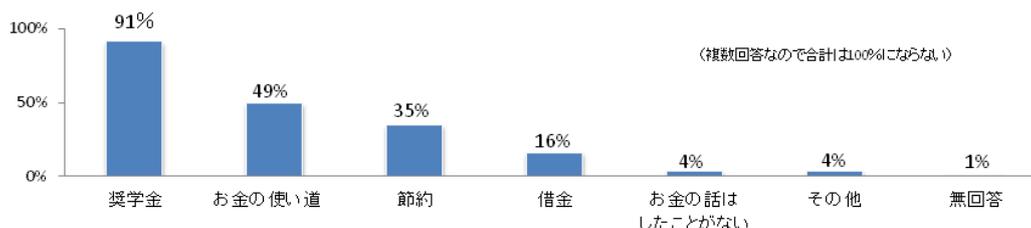
奨学金の延滞率は、返還義務者全体からみると、2009年をピークに最近では、3.9%と趨勢的には減少しています。奨学金は、経済状態に関わらず進学を確保するものであり、若者の未来の礎になるものです。

2022年には高校在学中の18歳で成人になります。現在は、19歳までは未成年であり単独では契約できませんが、2年後には高校在学中に、奨学金も自分の意思で契約できるようになっているかもしれません。

在学中に大きな金額を借り入れて後で後悔することのないよう、奨学金は本人の問題と片づけるのではなく、早い段階から保護者も一緒になって考えておかなければなりません。

消費者教育として金銭教育が小学校からカリキュラム化されていますが、奨学金で不幸な事態に若者を陥らせないためにも関係者の一層の取り組みが求められています。

家庭内でのお金の話



【アンケートの概要】

①対象者 大学・専門学校の卒業年次生 700人(全員奨学金の利用者・延8校) ②時期 2019年11月5日~12月13日

③調査方法 奨学金返還啓発セミナー終了後、アンケート用紙を配布・回収

*アンケートの全体は、当研究所のホームページの「新着情報 2020.02.17」にあります。

若者の堅実消費

- アンケート続き 1 -

欲しい物

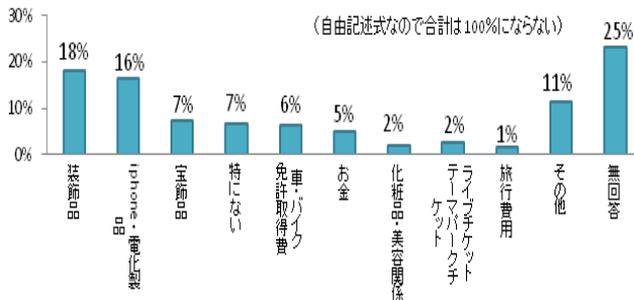
個人消費はGDPの6割を占め、その動向は経済全体に大きな影響を与えます。消費増税の影響もあってか、従来型のデパート、スーパーの売り上げは一向に伸びる気配がありません。ネット通販やオークションなどへのシフトもいわれています。また若者世代の消費の落ち込みもいわれています。

昨年のタピオカの流行のように、流行に敏感な若者世代はいったい何を欲しているのでしょうか。

自由記述式で欲しいものを聞いてみたところ、「装飾」「宝飾」「化粧品・美容関係」の回答を合わせると27%と、ほぼ4人に1人の割合となりました。回答者の母数の約7割は女子学生です。

一方、「特にない」(7%)と「無回答」(25%)も多いうように思われます。アンケートは短い時間で書き込むものですから、思いつかなかったのかもしれませんが、現代若者の欲のなさの表れでしょうか。

欲しい物



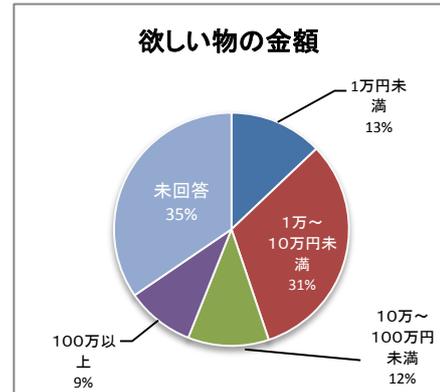
キャッシュレスより貯金？

キャッシュレスは国の重要な政策のひとつとなっています。消費増税による景気の冷え込みを抑えるために、税金を投入したポイント制度にも取り組んでいます。

若い世代のスマホ普及率は、ほぼ100%ですからスマホを使ったキャッシュレスを始めようと思えばいつでもできる環境にあります。

では、どのくらいの金額の物を欲しているかを聞くと、現在は学生であってそれほど大きな金額とは縁がないからかもしれませんが、10万円未満が44%という結果でした。

欲しい物の中に、iPhoneと具体的商品名で書き込まれた回答も多くありました。10万円以下ですから、この回答が反映したものと思われる。



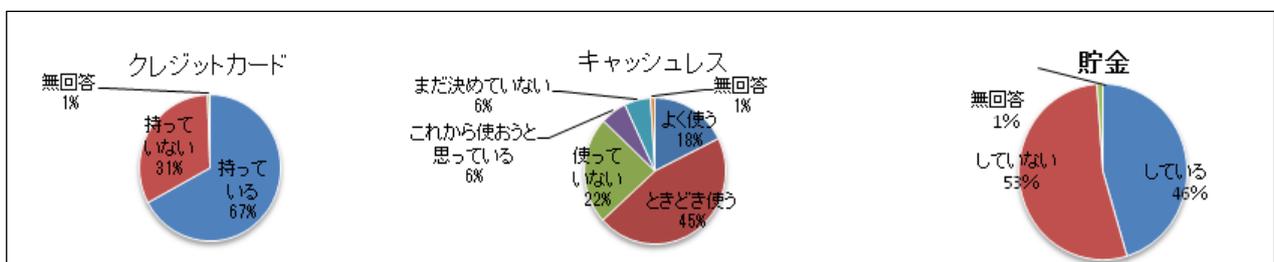
物やお金に対する態度は、趣味にも表れるものと思われま。現代の若者がどのようなことを趣味にしているか聞いてみました。

「コト消費」(魅力的なサービスや空間設計等によりデザインされた『時間』を顧客が消費すること・経産省)に当たるだろうと思われる趣味がいくつかあげられていました。

記述の多い順に記すと①(映画等の)鑑賞(20%)、②スポーツ(15%)、③グルメ・テーマパーク(14%)、④音楽ライブ(11%)で、SNSやネットゲームはその下の9%でした。

クレジットカードを「持っている」という回答は約7割でした。では、クレジットカードも含めてキャッシュレスをどのくらい使っているかを聞くと、「よく使う」は18%で「ときどき使う」は45%でした。一方、「使っていない」以下の回答も32%ありました。若い世代には、普及の兆しが見えるといってよさそうです。

一方、毎月貯金をしているという回答は、46%ありました。今日の学生の堅実さが表れているようです。



今の生活と将来への期待

- アンケートの続き 2 -

幸せの基準

今回行ったアンケートは、講演の時間内に行ったもので質問数には限りがあります。その中で、現代の若者たちがどんな時に「幸せ」を感じるか、相反する二つの質問で聞いてみました。

まず、物に関して「高級ブランド品」と「安くていい物」を対比させると、「高級ブランド品」は「満足度高い」(27%)、「やや高い」(33%)、「なんともいえない」(28%)とこの三つの回答でそれぞれ同じような割合になりました。「満足度低い」という回答は10%でした。

これに対して「安くていい物」は、「満足度高い」が66%、「やや高い」が25%と合わせて9割を超える割合となりました。「なんともいえない」という態度保有の回答は6%でしたから、どうも圧倒的に「安くていい物」が若者たちの支持を集めているようです。

欲しい物の金額は10万円以内という回答が多く、その範囲で十分幸せを感じていることになるものと思われます。

SNSを使っている学生・生徒は98%とほぼ全員でした。インスタ映えスポットがテレビで紹介されたり、食事をしているときに写真を撮っている人をよく見か

けますが、若者たちはSNSをどう受け止めているのでしょうか。

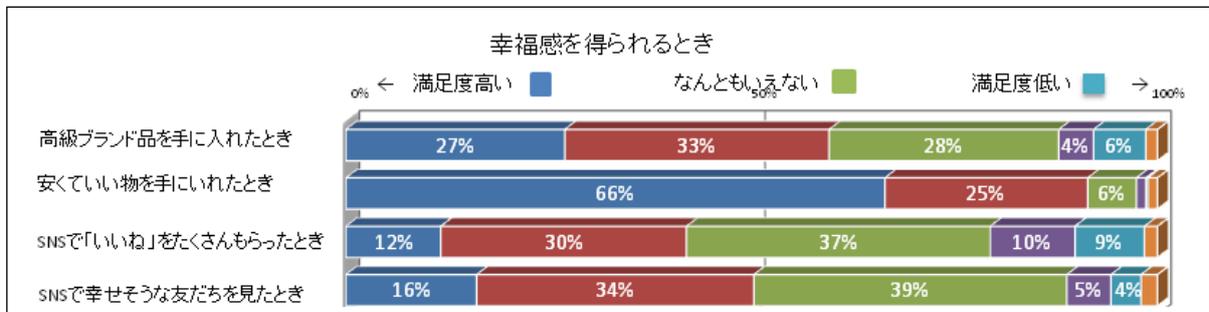
発信するからには、「いいね」をたくさんもらった方が幸せをよりたくさん感じるように思われますが、そうではありませんでした。「いいね」をたくさんもらったときより「幸せそうな友だちを見たとき」の方が、わずかな差ですが「満足度高い」「やや高い」の回答が上回りました。

将来の生活への期待

アンケートの対象者は、大学・専門学校の卒業年次生ですから、ほぼ20~22、23歳です。彼ら・彼女たちは自分の将来の生活にどのくらい期待しているのでしょうか。

「とても期待している」(11%)、「少し期待している」(42%)を合わせると53%となって半数以上という結果になりました。逆に「まったく期待していない」(5%)、「あまり期待していない」(12%)は17%でした。

「なんともいえない」(29%)という回答を除いて、割合の比較をすると、「期待している」は「期待していない」の3倍という結果になりました。どんな結果が出るか楽しみな設問でしたが、安心しました。



【コラム】

最近見たある大学のホームページに、「当たって砕けない。強くなる。」という教育目標が掲げられていました。「TOUGH」という言葉も使っていました。私は「タフでなければ男じゃない」が流行った時代の古い人間ですからすごく同感しました。タフを売り物した映画俳優もいました。

最近若い子と接すると、どうもひ弱に感じて仕方がありません。ワールドカップの影響でラグビーが人気ですが、まさに「当たって砕けない」というフィクションに熱狂したのではないかと思います。

そんなことを思っているとき、興味深いアンケート結果を見つけました。日本財団が世界9か国の18歳それ

ぞれ1,000人を対象に行ったものです(社会や国に対する意識調査 2019.11.30 発表)。「自分の国の将来についての考え」を聞くと、日本は、「良くなる」という回答が9.6%で最下位でした。「悪くなる」は37.9%と4倍もあります。

最も「良くなる」という回答を集めたのは中国で96.2%、主だった国を紹介するとアメリカは30.2%、韓国で22.0%でした。

この種のアンケートでは中国やアメリカは高い数値がでるそうですが、それにしてもこの結果、どう考えればいいのでしょうか。

上席研究員 水上 宏明

活動状況（講師派遣）

【2019年】

【教育関係】

東京ベルエポック美容専門学校（2回目）
 札幌大学
 東京アニメ・声優専門学校（2回目）
 帝京科学大学
 東京バイオテクノロジー専門学校
 東京家政大学狭山キャンパス
 東京家政大学板橋キャンパス
 札幌創成高等学校
 武蔵野大学附属千代田高等学院
 東京コミュニケーションアート専門学校
 日本医歯薬専門学校
 東京富士大学
 東京ベルエポック美容専門学校（1回目）
 神田外語大学
 東京都立片倉高等学校
 東京アニメ・声優専門学校（1回目）
 横浜美術大学
 新宿医療専門学校

【行政機関】

横浜市南区高校生対象自立支援講座
 佐賀県こども家庭課
 茨城県奨学金貸付担当者勉強会
 埼玉県教職員等消費者教育セミナー
 横浜市緑区高校生対象自立支援講座
 島根県ひとり親福祉担当職員研修会
 鳥取県税外未収金に係る庁内会議

【その他】

福岡県行橋商工会議所主催講演会
 栃木県社会福祉協議会母子・父子自立支援
 員等研修会

（開催日順）

むずかしいことをやさしく やさしいことを深く

* 当研究所が講演の際に使用するレジメの一例です。

私たちは、家計管理や金銭教育を通じて、
 貧困が無くなるように、
 質の高い教育を皆様に提供できるように、
 を持続可能な開発目標に据えて、取り組んでいます。

ニュースリリース NO.4 2020.2

《編集・発行》

一般社団法人 NTSセーフティ家計総合研究所

〒108-0023 東京都港区芝浦3-13-2 Yビル6階

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル3階（新所在地・2020年2月25日～）

TEL (03) 6459-4770 (担当:長野)

FAX (03) 3457-1630

URL : <https://nts-safety.com> Mail : nts-kskn@nts-hd.co.jp

